

# 塁球報告

## 量子一連勝

(分析4-12量子、1回戦、28日、御殿下グラウンド、写真撮影：大高(敬称略))

ソフトボール大会練習試合が開催され、量子化学研究室(量子)が分析化学研究

室(分析)に12対4で勝利した。量子はこれで二連勝。量子は初回から石田の満

[発行日] 2012年5月28日(月)

[発行者] ソフトボール代表 石田角太

[連絡先] 2-4336



1回裏量子2死満塁、走者一掃の左翼線適時三塁打を放つ石田(左)と三塁走者安藤(右)

### Rookies②

#### 田原 龍之介さん



本郷学生委員会に所属しています。生協に対する意見は僕に言って下さい

Rookiesの第二回は、田原龍之介さん(学部四年)です。三年生の時からサードを守っています。サードの守備には多少慣れているので、チームのために貢献出来れば、と思います。試合中の守備では静かにすることがないよう、意識的に声を出すようにしています。打撃は好きですが、あまり得意ではありません。頑張つて練習します。量子化学研究室チームは堅い守備で確実にプレーしていきます。優勝目指して頑張ります。

塁走者一掃三塁打などで7得点を挙げた。2、3回表の分析の攻撃で3点差まで迫られるも、量子は3回裏に市川、歸家の適時打などで5得点。そのまま逃げ切った。  
○安藤(量) 先発登板し、2回2失点。「追い風で投げやすかったが、無駄なフォアボールがあった」  
○大高(量) 一眼レフを用いての写真撮影。「このカメラは祖父が使っていたのを譲り受けたものです。晴れていたから綺麗に撮れましたね」今年の量子チームについて「昨年までとは躍動感が違う。本番では優勝してくれるものと信じています」。



一塁への送球を好捕する島本

### 量子 堅実な守備

#### 失点1桁

前回の2桁失点とは対照的に、この試合量子は4失点。堅実な守備を見せた。二塁手・仁田はゴロやフライを無難に処理し、ショートゴロ時のベースカバリーも確実に行なった。一塁手・島本は内野手の送球を確実に捕球。三塁手・田原はアウトカウントの確認や送球位置の指示などで積極的に声を出した。右翼手・深堀は一塁送球のカバーをこなし、失点が減少したことについて市川(ヘッドコーチ)は「全てのプレーにおいてレベルが上がっている。ベースカバリーや捕球などを無難にこなせていることが少ない失点につながった。最近、守備練習の機会があまりない中で上達が見られるのは、各人がよく考えてプレーしている結果であると思う」。

	回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
チーム名											
外野		0	2	2							
山内		7	0	4							

### 量子化学研究室 ソフトボールチーム

